

エレベーターとロボット連携の新プラン「ロボット移動支援サービス^{ライト} Lite」を発売
低コスト・短工期の新プランにより、施設運営の効率化と省力・省人化に貢献



ロボット移動支援サービス Lite（運用イメージ）

三菱電機ビルソリューションズ株式会社（取締役社長 織田 巖、本社：東京都千代田区）は、スマートシティ・ビル IoT プラットフォーム「Ville-feuille®（ヴィルフィーユ）」を活用し、エレベーターとサービスロボット（以下、ロボット）を連携させ、建物内における「ロボットのフロア間移動（たて移動）」を支援する「ロボット移動支援サービス」の新プラン「ロボット移動支援サービス Lite」を 10 月 28 日に発売します。

新プランの「ロボット移動支援サービス Lite」は、既存の「ロボット移動支援サービス」の複数機能の中から、「ロボットのフロア間移動」機能に限定した、当社とエレベーターの保守契約を締結いただいている建物を対象としたサービスです。これにより、導入費用は原則不要※1 となり、短期間での導入と低価格運用が可能なことから、小・中規模の建物にも導入しやすいサービスとしています。

近年、施設運営の効率化や従業員の負担軽減を目的として、施設内の配送、清掃、案内などの業務にロボットを活用する動きが広がっています。当社は、2020 年 10 月に「ロボット移動支援サービス」の提供を開始して以来、大規模ビルを中心にロボットのフロア間移動やロボットの運営管理を支援してきました。一方で、建物の規模や用途によって、ロボットの活用方法やエレベーターとの連携に必要な機能、設備・運用条件は異なります。そこで当社は、小・中規模の建物に適した機能に限定した新プランを発売することで、小規模から大規模まで、幅広い建物の規模や用途に対応できるラインアップを拡充しました。

本サービスを通じて、集合住宅、宿泊施設、医療・介護施設などを含む幅広い建物へのロボット導入を促進し、施設の運営管理業務の省力化・省人化に貢献します。

新プラン「ロボット移動支援サービス Lite」の特長

1. 初期費用は原則不要、低価格運用でのロボット導入により業務の省力化・省人化を実現

- ・当社のエレベーター保守契約に付帯する遠隔監視回線を活用するため、新たな専用機器の設置等は原則不要※1。エレベーター工事に関わる導入費用も不要※2
- ・月々の運用費用も従来プランの約 1/3。ロボットのフロア間移動を支援し、運用効率を向上することで、業務の省力化・省人化を実現

2. 現地作業を削減、エレベーター停止期間の最小化により利用者の利便性を確保

- ・保守契約中のエレベーターの遠隔監視回線を活用するため、現地では最小限の設定作業のみで作業が完結。エレベーター停止期間を最短 1 時間とし、利用者の利便性を確保するとともに、ビル運営管理者の準備・調整にかかる負担を軽減し、早期のサービス利用開始を支援

※1 エレベーターの仕様によっては、一部追加改造に伴う費用が発生する場合があります

※2 ロボット本体の購入やリースなどによる導入費用は除く

3. ロボット1台のフロア間移動からフルサービスへの移行が可能で、将来的なシステム拡張ニーズにも対応

- ・当社製エレベーターを対象に、施設の規模や運用状況に応じて、効果検証を行いながら段階的な導入が可能
- ・当初の小規模導入から、エレベーター・ロボットの連携台数拡大に加え、多様な機能を備えたフルサービスへの移行※3により、将来的なシステム拡張ニーズにも対応

製品仕様

項目	内容
サービス名称	ロボット移動支援サービス Lite
サービス内容	エレベーターとロボットを連携し、ロボットのビル内移動を支援
対応エレベーター	当社製エレベーター（仕様により、追加改造に伴う費用が発生する場合や、適用できない場合があります）
	新規設置向け AXIEZ-LINKs、AXIEZ、NEXCUBE（低速用）
	リニューアル向け Elemotion+
導入条件	対応エレベーターの保守契約を締結していること ・三菱エレベーターリモートメンテナンス契約 「ELE FIRST-smart」または「ELE FIRST-i plus」
発売日	2026年10月28日

システム構成



主な仕様

項目	ロボット移動支援サービス Lite	ロボット移動支援サービス
主な対象施設	小・中規模施設	大規模施設
初期費用	原則不要※1	個別見積
月額費用	25,000 円／月・バンク※4 （見積価格）※5	74,000 円／月 （見積価格）
建物	1 棟	5 棟
連携可能なロボット※6	最大 10 台	最大 30 台
対応エレベーター	1 バンクあたり 2 台以内のエレベーター	1 バンクあたり 3 台以上のエレベーターも 対応可能
機能	ロボット専有運転モード	—（追加不可）
	ロボット管制	—（追加不可）
	ロボット統合監視	—（追加不可）
	入退室連携	—（追加不可）
	他社製エレベーター連携	—（追加不可）

※3 「ロボット移動支援サービス」への移行時にはエレベーターの改造・追加機器設置が必要

※4 バンクとは、同一群として運行管理されるエレベーターの単位

※5 ロボット1台と連携の場合。見積価格は連携するロボット台数によって変動

※6 ロボットの通信仕様などにより、対応可否を個別に確認

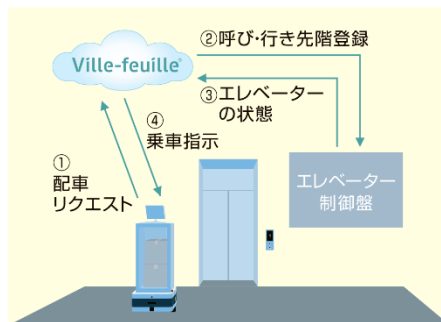
機能説明

「ロボット移動支援サービス Lite」では、以下の機能がご利用いただけます。

Lite 三菱エレベーターで連携可能

エレベーター連携

ロボットのリクエストに応じて、エレベーターの呼び・配車を実行。エレベーター乗降時には、戸開状態を保持するなどして安全にサポートします。

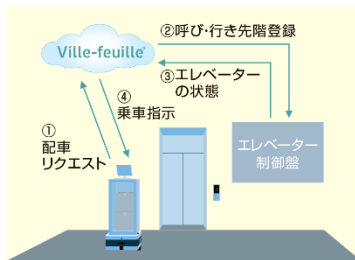


「ロボット移動支援サービス」への移行で、以下の機能をご利用いただけます。

ロボット移動支援サービス メーカーを問わず連携、複数の多様なロボットを一元管理

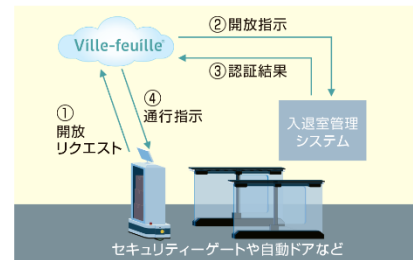
エレベーター連携

ロボットのリクエストに応じて、エレベーターの呼び・配車を実行。エレベーター乗降時には、戸開状態を保持するなどして安全にサポートします。
また、他社製エレベーターとも連携可能です。



入退室管理システム連携

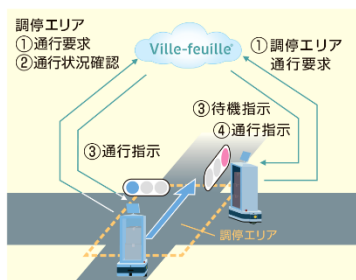
入退室管理システムにロボットのIDを送信し、セキュリティゲートの開放や自動扉の解錠をリクエスト。ロボットに対しては、通行タイミングを指示します。



ロボット管制

複数のロボットが通行する箇所を調停エリアとして設定し、そのエリアへのロボットの進入可否を判断して、通行または待機を指示します。

複数種類・複数台のロボットの通行を制御することができ、各ロボットへの通行の優先度設定も行えます。



ロボット統合監視

分かりやすいグラフィックモニター表示で、ビル管理者がPCやタブレット端末からロボット

の位置や稼働状況、異常などを直感的かつ一元的に監視することができます。



スマートシティ・ビル IoT プラットフォーム「Ville-feuille®」について

エレベーター、空調、照明、サービスロボット、入退室管理システム等のさまざまなビル内設備の稼働データやセンシングデータなどを収集・蓄積し、AIやビッグデータ解析などの最先端技術を活用してデータ処理を行うIoTプラットフォームです。当社は2020年に「Ville-feuille®」を活用した「ロボット移動支援サービス」を発売。以降、「入退室管理システム連携」や「エレベーターに人とロボットが同乗する機能」、他社製エレベーターとの連携、複数種類・複数台のロボットを一元的に監視する「ロボット統合監視」など、ロボットの建物内での円滑な移動・運用を支援する機能を開発・提供しています。

商標関連

「Ville-feuille」は三菱電機株式会社の登録商標です。

三菱電機ビルソリューションズについて

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は、ビルシステム事業における開発・製造から保守・リニューアルまで一貫した事業運営を行う、2022 年 4 月に設立した三菱電機の連結子会社です。昇降機（エレベーター・エスカレーター）、空調・冷熱機器、ビルシステムなど多彩なビル関連製品・サービス群とビル運用管理の豊富な経験、さらに先進のデジタル技術を掛け合わせた統合ソリューションをワンストップで提供するビルソリューションプロバイダとして、社会インフラを支えています。ビルからビル群、そして都市へと、スマートシティの実現に向けて、人と社会に寄り添ったさまざまな課題解決を通じ、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機ビルソリューションズ株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒100-8335 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL: 03-6206-5030

<https://pages.mebs.co.jp/mediaform-input.html>

<お客さまからのお問い合わせ先>

三菱電機ビルソリューションズ株式会社 日本事業統括本部

〒100-8335 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

https://www.MEBS.co.jp/contact/form_products.html